

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

本年2月26日開催の取締役会におきまして、私が代表取締役社長に選任され、4月1日付で就任いたしました。変革の時代において、FDKの新たな時代をスタートすべく、微力ではございますが精一杯努力いたす所存でございますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

第75期の報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社を取り巻く環境は、液晶テレビ・プラズマテレビといった薄型大画面テレビ、デジタルカメラ、カメラ付携帯電話などのデジタル電子機器のヒットにより明るさを増しています。このような環境のなかで、「ITバブルの崩壊」により情報・通信を中心に大きな痛手を受けた電子・電機産業も確実に業績を回復してきております。

当社は、過去数年間の厳しい市場環境において、確実に利益を出せる企業体質を構築すべく、大規模な事業構造改革に取り組んでまいりました。その過程で傷んだ財務構造を立て直すとともに、新たな成長に向けてのスタートを切るべく、本年3月総額121億円の第三者割当増資を実行いたしました。さらに、グループ全体でお客様に満足いただける強いものづくりを目指し、本年初めより生産革新運動を本格的にスタートさせました。この運動を強力に推進するとともに、経営の全活動の抜本的な変革へとつなげたいと考えております。



代表取締役社長 杉本俊春

今後につきましては、地上デジタル放送の開始やアテネオリンピックの開催などを背景として、デジタル電子機器への需要は拡大を続けるものと予想しております。当社はこの機に、素材から回路・高密度実装までの一貫した技術をもつ部品メーカーとしての特長を活かし、特に伸長著しいフラットパネルディスプレイやネットワーク製品向けを中心にスピードをあげて新製品の開発を進め、お客様にご満足いただけるキーデバイスの提供により、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、FDKの新たな時代のスタートに向け、なにとぞ倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月